

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）一、除外一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1 Q	3,150,000株	2020年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1 Q	304株	2020年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1 Q	3,149,696株	2020年3月期1 Q	3,149,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、政府による緊急事態宣言や自治体による外出自粛・休業要請等により、企業業績や個人消費に深刻な影響が生じました。緊急事態宣言解除後も依然として先行きの見通せない状況が続いております。また、世界的な感染拡大が深刻化し、各国で外出や移動に対する規制が行われていることから、企業活動は低迷し、世界経済は急激に悪化しております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費活動が変容していることから、経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。しかしながら、緊急事態宣言による外出自粛要請の影響は大きく、主力カテゴリーである食品副原料、農産物加工品、乳及び乳製品の販売数量が前年に比べて減少いたしました。一方で、近年注力している環境ビジネス関連の大型シーリングファンの需要は引き続き高く、コロナ禍においても、好調に推移いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,391,595千円（前期比13.7%減）となりました。対面での営業活動が大幅に減少したことにより営業経費や物流費等の販売管理費は抑えられたものの、売上高減少にともなう売上総利益の減少分を補填することができなかったこと、加えて、子会社サンオーネストにおいて、受注が減少し、25,182千円の営業損失となったことから、営業利益は127,960千円（前期比43.0%減）となり、経常利益は140,478千円（前期比44.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89,851千円（前期比52.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、新型コロナウイルスの影響を受けて、外出自粛や在宅勤務等により飲料需要が減少していることや消費者の節約志向が継続していることから厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。大型シーリングファンは、倉庫設備の換気効果があることや労働環境の改善が図れることから、コロナ禍においてもニーズが高く、前期に比べ大幅に伸長しております。一方、外出自粛の影響により、飲料製品の製造が抑制され、食品副原料や茶類などの農産物加工品や殺菌乳の販売数量が減少したことから、卸売事業の売上高は7,386,318千円（前期比13.7%減）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、主な得意先である外食チェーン店の臨時休業や営業短縮により業務用パルクアイスの受注が減少したことに加えて、大手レジヤランド施設の営業自粛や客数制限によりPB商品の受注が前期に比べ大幅に減少いたしました。以上の結果、製造販売事業の売上高は112,332千円（前期比42.2%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ506,703千円増加し、8,706,696千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、未着商品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ51,984千円増加し、1,349,234千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ558,688千円増加の10,055,930千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ426,380千円増加し、5,421,984千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ166,196千円増加し、1,649,427千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ592,576千円増加し、7,071,412千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ33,888千円減少し、2,984,518千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月11日に発表いたしました数値から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の売上高及び利益は前年に比べ大幅に減少しておりますが、当期の予算計画は新型コロナウイルス感染拡大にともなう外出自粛による消費低迷の影響を相応に加味して策定しております。しかしながら、今後も当該感染拡大が長期化し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,681	1,256,228
受取手形及び売掛金	4,407,879	4,629,014
商品及び製品	1,791,801	1,980,263
未着商品	465,426	660,430
原材料及び貯蔵品	33,985	32,382
未収入金	72,578	113,630
その他	47,439	39,746
貸倒引当金	△4,800	△5,000
流動資産合計	8,199,992	8,706,696
固定資産		
有形固定資産	430,573	436,131
無形固定資産	6,647	5,970
投資その他の資産	860,028	907,132
固定資産合計	1,297,249	1,349,234
資産合計	9,497,242	10,055,930
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,717,006	4,212,355
1年内返済予定の長期借入金	815,988	854,817
未払金	154,530	160,153
未払法人税等	162,492	47,864
賞与引当金	42,407	24,000
その他	103,178	122,794
流動負債合計	4,995,604	5,421,984
固定負債		
長期借入金	1,419,897	1,561,662
資産除去債務	1,695	1,702
その他	61,639	86,063
固定負債合計	1,483,231	1,649,427
負債合計	6,478,835	7,071,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,073,348	2,021,463
自己株式	△259	△259
株主資本合計	2,728,951	2,677,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,679	230,556
繰延ヘッジ損益	1,568	597
為替換算調整勘定	25,459	23,265
その他の包括利益累計額合計	236,708	254,419
非支配株主持分	52,747	53,031
純資産合計	3,018,406	2,984,518
負債純資産合計	9,497,242	10,055,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,563,404	7,391,595
売上原価	7,749,059	6,746,822
売上総利益	814,345	644,772
販売費及び一般管理費	589,916	516,812
営業利益	224,428	127,960
営業外収益		
受取配当金	2,309	2,468
受取手数料	1,611	1,581
受取補償金	281	—
為替差益	22,919	5,317
補助金収入	5,000	4,749
その他	454	1,401
営業外収益合計	32,575	15,518
営業外費用		
支払利息	2,203	2,220
支払補償費	—	779
その他	67	0
営業外費用合計	2,271	3,000
経常利益	254,732	140,478
税金等調整前四半期純利益	254,732	140,478
法人税、住民税及び事業税	70,626	45,125
法人税等調整額	△1,304	4,677
法人税等合計	69,321	49,803
四半期純利益	185,410	90,675
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,861	823
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,271	89,851

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	185,410	90,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,252	20,877
繰延ヘッジ損益	△1,596	△971
為替換算調整勘定	△12,350	△2,733
その他の包括利益合計	△62,200	17,172
四半期包括利益	123,210	107,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,617	107,563
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,406	284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,507,644	55,760	8,563,404	—	8,563,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,231	138,436	186,667	△186,667	—
計	8,555,875	194,196	8,750,072	△186,667	8,563,404
セグメント利益	220,236	7,385	227,621	△3,192	224,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,192千円は、セグメント間取引消去△3,192千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,350,854	40,740	7,391,595	—	7,391,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,463	71,591	107,055	△107,055	—
計	7,386,318	112,332	7,498,650	△107,055	7,391,595
セグメント利益又は損 失(△)	151,819	△25,182	126,637	1,323	127,960

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,323千円は、セグメント間取引消去1,323千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていたコンビニエンスストア小売業について、経営上の管理区分の見直しを行ったことにより、「卸売事業」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。